

こおろぎ

発行日 2004年8月1日 **No.137**
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

悪循環

今年の夏は、40度を超える暑い日が続いたり、大雨で大きな被害が出たりしましたが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか？

私は、普段、行けない遠方の講演に飛び回っています。その中でもこの時期は、先生方の研修にたくさん出席させてもらっています。

こんなことを書くと、先生方に怒られてしまうかもしれませんが、先生方は一般の企業の人達よりも、研修中によく居眠りをします。それも、つい寝てしまったというのではなく、最初から「寝る気満々」で参加している人がずいぶんいる気がします。

また、更に不思議なのは、誰かが寝ていても、誰もその人を起こさないことです。一般の企業なら上司や先輩が注意しますし、学校で生徒が居眠りをしていたら、先生が起こすと思うのですが、先生方の世界には起こす人がいません。

確かに、毎年同様の研修を繰り返されたら、大抵の人はやる気がなくなると思います。しかし、内容はどうであれ、やる気のない姿を（お客様や上司に）見せてしまったら、社会からの評価は更に厳しくなり、子どもへの教育がしにくくなるばかりか、教師への管理がより厳しくなると思います。そうなったら今以上にやる気がなくなるのではないのでしょうか？

私の意見としては、夏休みに生徒のいない学校に行かなくても、先生方が自分で決めたテーマを自由に研究し、二学期の前に発表すればそれで良いと思います。しかし、こうした状況では、個人個人に任せても、しっかりとした研究をしないだろうと思われて、任せてもらえないと思います。

つまり、自分で自分の首を絞めているのです。

先生方の応援団の一人として、ここでハッキリ述べておきたいことは、先生方の仕事は、我々経営者の仕事と同様、その時間、会社に出勤していればそれで良いというものではありません。意欲的に感性が発動していなければならぬ仕事です。ところが今は、やる気をなくす悪循環に入っていて、それが出来にくくなっていると思うのです。

ここまで先生方の悪循環を述べてきましたが、このような悪循環は、果たして教師だけのことでしょうか？ 私たちの生活の中にも、この悪循環はないのでしょうか？

「誰に投票しても同じだから」と言って投票に行かない人。その結果、民意を反映しない政治が行われ、多くの税金が無駄なことに使われています。その税金は誰が払うのでしょうか？

会社への不満を言って、全力で働かない人。それでその会社は良くなるのでしょうか？ その会社を悪くしているのは、誰なのでしょう？

今回は、先生方のことを例に挙げましたが、私たちの周りには、同様の悪循環がたくさんある気がしてなりません。

では、誰がその悪循環を変えるのでしょうか？

もし私が教師なら、意欲的に仲間と研修に参加したり、子どもを集めて勉強を教えたりして、「任せても大丈夫」と思われる努力をします。自分たちの求めているものを手に入れるために、努力しなくてはいけない人は自分なのです。そうしたことを子どもたちにも、学んでほしいと私は願っています。

8月21日、22日に、教師の教師による教師のためのトイレ掃除の会が静岡で行われますが、自分の時間を割いて学校や子どもたちを良くしようとしている先生方もたくさんいます。是非、教師としてのプライド（誇り）を大切にしてもらいたいと思います。

リーダーシップ

企業の経営者である私と学校の校長とでは、責任の大きさがこそ同等かもしれませんが、その権限にはあまりにも差があり、本当に難しい立場だと思います。しかし、それでも先生方を応援し、生き生きさせるのは、リーダーである校長の仕事だと私は思っています。

以前、「管理職の仕事」は、人を育てることと環境を作ることを通じて、組織を活性化することだと述べましたが、ここでもう少しリーダーについて考えてみましょう。

昔は、生まれながらにリーダーの特性を持っている人が良いリーダーになると考えられていましたが、現在では、リーダーと構成員との関係と、リーダーの働きかけによってリーダーシップの良し悪しは決まるという考えが主流となっています。

今回は、社会心理学で、今、最も注目を集めている「カリスマ的リーダーシップ」について紹介したいと思います。

「カリスマ」というと誤解する人がいるかもしれませんが、ビルゲイツ氏やカルロス・ゴーン氏などに代表される優秀なリーダーの行動の共通点をまとめると、次の4点になります。

- (その1) ビジョンを明確に示し、夢を与える。
- (その2) そのビジョンを叶える方法を具体的に示す。
- (その3) 個人個人に合った課題、目標を与える。
- (その4) いざという時は、率先してリスクを背負う。

私は、学校で道徳を教えることがあります。私なりに考えた道徳の教え方は、生徒にあこがれを抱かせることです。皆さんは、疲れきって暗い顔をしている人と、夢に向かって生き生きしている人と、どちらの人のアドバイスを聞きましょう？

人は、あこがれた人の生き方に影響を受けるものです。ところが現在では、あこがれられる魅力的な大人が少なくなってしまった気がします。校長同様、生徒にとって先生方はリーダーです。夏休みにいろいろな体験をし、体感した人生のおもしろさを子ども達に伝えて、子ども達の目を輝かせてほしいと私は思います。

人は誰でも自分の力を発揮し、人に認められたいと思っているものです。人の努力や適切な行動を認め、人を生き生きさせるのがリーダーの仕事です。私もそんなリーダーになりたいものです。

お便りコーナー

校長・教頭会での講演、ありがとうございました。私は、たとえ過去にどんな評価を受けていようが、職場を共にする一人一人が生き生きと働けるように、また、そういう環境にしていきたいという思いで校長として一年半頑張ってきました。今、教育界も厳しい状況にありますが、今回の講演を聞いて、リーダーとして、同僚を勇気づけていこうと再度思いました。本当に、ありがとうございました。

父のことでは、ご心配をおかけしています。経営塾の皆からもメールを頂き、うれしく思っています。それぞれが家庭を持ち、しばらくの間、家族がバラバラになっていましたので、家族が力を合わせる時間を命がけで作っているようにも思えます。人には誰にも、その存在に意味があると思いますが、父は今、自分の持てる最後の力を振り絞って、私たちにメッセージを送っているような気がします。さすが、オヤジです。

波多野 勝彦